

中部地域の NGO にとって必要な連携について

1. 経緯と狙い

前回、第2回中部 NGO-JICA 中部地域協議会(以下、中部地域協議会)において、地域の NGO の特徴を生かした連携、地域の課題を解決するための連携の重要性が指摘され、双方で認識した。それを受けて、9/27~10/11 にかけて、名古屋 NGO センターの加盟団体を中心に、中部地域の NGO から意見集約を行った。その内容について、地域協議会の場に報告する。

また、これまでの経緯やこれらの意見を踏まえて、地域の NGO にとって必要な連携について協議したい。昨今の情勢の変化に伴い、NGO の能力強化のための研修のあり方についても様々な意見があることを承知している。地域 NGO には地域の NGO の特性があり、抱える課題にも特徴がある。JICA 中部が実施する地域 NGO 向けの研修についても地域 NGO-JICA 間の対話を継続し、地域の NGO の声が反映できるようにしていきたい。

最後に、今後も継続して、これらの中部地域の NGO にとって必要な連携について、具体的な議論を継続していくことを、地域の NGO-JICA 間で合意したい。

2. 中部地域の NGO からの意見集約(草の根技術支援以外)

名古屋 NGO センター常任理事会(9/20)で合意した以下の順序で、草の根技術支援以外の連携策について、地域 NGO の意見集約を行った。

- a) アンケートの実施 9/27~10/10 意見交換会に先立ちアンケートを実施(8団体回答)
 - b) 意見交換会の実施 10/11 14~17時 名古屋 NGO センターで開催(8団体参加)
- *重複もあり、合計13団体

主な意見は、以下のとおりである。

(1) 新スキームの提案について

- 1) 他地域センターで行っている渡航費助成、事前調査助成の実施。
(市民参加海外プログラムの適用→拡大)ほとんどの団体が、実施を要望。
 - 渡航費 ・必要9団体、応募したい1団体、不要1団体。
 - 事前調査 ・必要8団体、応募したい4団体、不要0。
- 2) 同種の活動を行っている NGO での訪問、研修への助成。
- 3) 日本への ODA で影響を受けた住民への直接支援。
- 4) 実施事業の評価への助成。

- 5) 事例研究への助成。(渡航費、宿泊費、文献購入費)
- 6) 新規活動のための調査支援。(案件形成の前々段階にあたる調査)
- 7) 物品購入費への助成。

(2) 多文化共生分野

- 1) JICA 中での位置づけと確認。
- 2) 日本と南米両国に跨る問題への取組要望。
- 3) 日系人が本国に戻った後の支援。
- 4) 日系人社会ボランティアおよび現地日系人団体とのプロジェクトの提案。
(例えば、帰国希望者に介護ヘルパー訓練→帰国後、日系1世の介護に従事)

(3) 協力隊関連 (日系人社会ボランティアも同様)

- 1) 帰国後オリエンテーションへの参加。
- 2) 隊員 OG/OB の NGO への参加&費用助成。
- 3) 赴任前、赴任中の隊員とのつながり作り。

(4) 草の根関連

- 1) 小規模で使いやすいスキームへの改良。
- 2) 相談時のネットワーク NGO の同行。
- 3) 事務処理のサポート、訓練への費用助成。

(5) 現地事務所関連

- 1) 現地への JICA 職員、協力隊の出張要請。
- 2) NGO デスクへの紹介、事業内容の説明。
- 3) 現地活動センターへの支援
- 4) 海外事務所で人材募集(含、無報酬)の掲示板の設置

(6) 震災・防災関連

- ・ JICA 地域センターも、地域の防災ネットワークに参加すべき。

(7) 協働事業での対応

- 1) もっと NGO にフレンドリーな姿勢で。
- 2) 対話を重視し、役割を担う事業運営。

以上